

---

# 第77期 年次報告書

(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

---



証券コード5697

## 株式会社サンユウ

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは2023年3月31日をもって第77期の事業年度を終了いたしましたので、ここにその事業の概況及び決算の結果についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化及び資源・エネルギー価格の高騰などにより厳しい状況が続きました。

わが国のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界（当業界）の主要需要家である自動車業界におきましては、一昨年からの半導体不足が解消されないことに加え、輸入部品の供給不足も続き、自動車生産は当初予想より大幅なマイナスとなりました。その結果、2022年暦年における当業界の生産量は1,602千トンと前年に比し140千トン減少いたしました（前年比8.1%減）。

また、鋼材価格は前期に引き続き大幅な値上げ（35千円/トン）となり、電気・ガスなどのエネルギー及び副資材も大幅な値上げとなりました。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて販売数量の確保、経費の抑制及び生産性の向上を推し進めるとともに、鋼材価格の値上げ分の製品販売価格への確実な転嫁及び加工賃の是正に努めて収益の確保に取り組みました。

これらの結果、販売数量は106千トン（前期比6.4%減）となりましたが、売上高は23,935百万円（同13.6%増）と増収となり、損益につきましては、加工賃の是正などによる収益改善効果があったものの、生産・販売数量の減少に伴う収益の低下及び製造コスト上昇の影響が大きく、営業利益は966百万円（同9.9%減）、経常利益は1,041百万円（同10.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は645百万円（同3.6%減）と減益となりました。

なお、事業部門ごとの業績は次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、販売数量は67千トンとなり、売上高は15,909百万円（同11.7%増）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、販売数量は39千トンとなり、売上高は8,025百万円（同17.6%増）となりました。

当連結会計年度に実施した当社グループの設備投資の総額は438百万円で、その主なものは、当社における連続抽伸機移送関連工事（126百万円）であります。これらの資金は自己資金及び借入金にて賄いました。

わが国経済の今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの影響が収束していくであろうことから、活動レベルの正常化が期待されますが、一方でウクライナ情勢やそれに端を発する資源・エネルギー価格の不安定化、欧米の一部金融機関の破綻を含めた世界経済の不透明性及び更なる諸物価の上昇などの懸念要因から、楽観視できない状況にあります。

当業界につきましても、主要需要業界である自動車・建産機分野において今後の見通しに力強さを欠き、加えて各種原料価格の乱高下を背景とした鋼材価格の大幅な変動並びにエネルギーや副資材の価格上昇によるコストへの影響が懸念されます。

このような経営環境下、当社グループの業容拡大、高付加価値化及び事業基盤強化の一環として、2022年12月に連結子会社の大阪ミガキ株式会社が株式会社メガサスの発行済株式の35%を取得しました。今後も保有する生産設備の効率的且つ最適な稼働を図るなどグループ間・事業所間の連携を一層強化することにより、グループ内経営資源を有効に活用し、連結収益の最大化を追求する所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ以上の諸事情をご賢察のうえ、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

代表取締役社長 喜多 章

## 事業の内容

### ●生産

大阪府内の2工場及び熊本県の九州工場を軸に、品質・数量ともに安定した効率的生産体制を構築しています。

需要家の求めるあらゆる用途や仕様に適合する優れた品質の製品を安定的・効率的に生産し、迅速・確実にお届けするために、大阪府内の枚方市と八尾市及び熊本県菊池市に消費地密着型のみがき棒鋼（普通鋼・構造用鋼、合金鋼、快削鋼、ステンレス鋼）と冷間圧造用鋼線（普通鋼・構造用鋼、合金鋼）の工場を展開しています。枚方市にある枚方工場では、みがき棒鋼の多品種生産を行うとともに精密加工により、高付加価値製品を産み出しています。八尾工場及び九州工場では、みがき棒鋼を生産するとともに自動酸洗設備及び熱処理炉を最大限に活用した冷間圧造用鋼線の生産により、自動車関連需要に対応しています。高炉・電炉メーカーの厳しい品質管理のもとで生産された優れた素材を使用することにより、良質のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線を生産し多くの産業界に提供しています。

### ●品質管理

鉄鋼メーカーと共同でよりよい品質の製品を開発しており、厳しい品質管理体制は需要家にも定評があります。

技術革新の著しい進展のなかで、製品に対する品質要求はますます高まっています。当社グループでは、高品質の製品を生産するために、その生命線ともいべき引抜ダイスの寸法精度を厳密に管理するとともに製品の寸法精度や形状精度を向上させ、表面きず等を低減させるために、徹底した工程内検査や厳格な出荷前検査を実施しています。特に表面きずについては渦流探傷機等を活用し、万全の注意を払って検査しています。また、鉄鋼メーカーとは新製品・新技術の開発計画、品質等について定期的に検討会を開催し、共同での改善・開発や共同品質管理体制を確立しています。

㈱サンユウにおきましては、ISO9001及びISO14001の国際規格を認証取得しており、今後とも品質の充実を図ってまいります。

### ●物流

業界随一の自動立体倉庫を軸に多品種の標準製品を常備在庫し、多様なニーズに即応できる全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。

「必要なとき必要な製品を必要なだけ供給する」といった販売基本方針のもと、製品を供給するために、全国をカバーする物流・情報ネットワークを構築しています。その核となるのが、大阪府内2カ所に設けた立体倉庫で、常時9,000トンもの多彩な標準製品をストックしています。特に東大阪市に設置した業界初の自動立体倉庫では入出庫管理はすべてコンピューター化されているので、需要家が求める製品がどこにあるかを瞬時に検索することができるようになっています。その結果、効率的な搬出入作業が可能となり、近畿圏の即納体制を確立しています。また、北海道から九州まで、全国各地を網羅した地域特約店との関係を強化することにより、㈱サンユウの各営業店舗並びに子会社の大阪ミガキ㈱及び大同磨鋼材工業㈱の各拠点と合わせて全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。

### ●技術

優れた良質の素材と最新の技術力、設備力で、高精度・高品質のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線を効率的に生産しています。

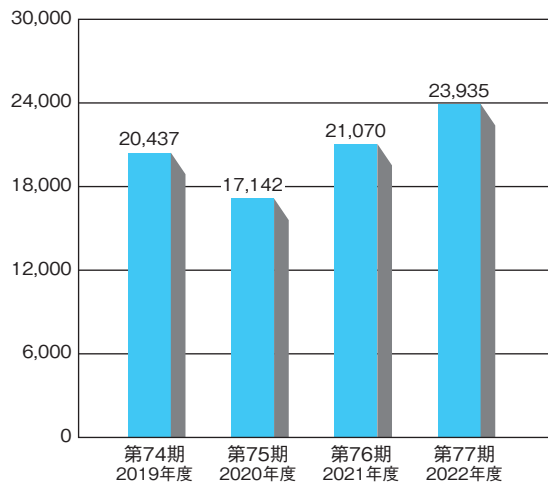
みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線は、鉄鋼メーカーの優れた品質の熱間圧延材を使用し、冷間引抜加工等により生産しています。冷間引抜加工とは、厳密な寸法・形状の穴型をもつ引抜ダイスと呼ばれる超硬合金製の工具で、少し大きい寸法の素材を穴型を通して引き抜くことにより、穴型の寸法・形状に成型する加工方法のことをいいます。

このうち、みがき棒鋼は（引き抜き一矯正）工程または（表面切削（ピーリング）一矯正）工程により精密な寸法・形状に仕上げられた棒状の製品をいい、引抜機は細物用に使用する連続抽伸機と太物用に1本ずつ引き抜く棒鋼引抜機（ドロベンチ）の2種類を使用しています。当社グループでは、最新の連続抽伸機、棒鋼引抜機、ピーリング及び矯正機を導入し、精密で高品質の製品を効率よく生産し、さまざまな需要家ニーズに応じています。

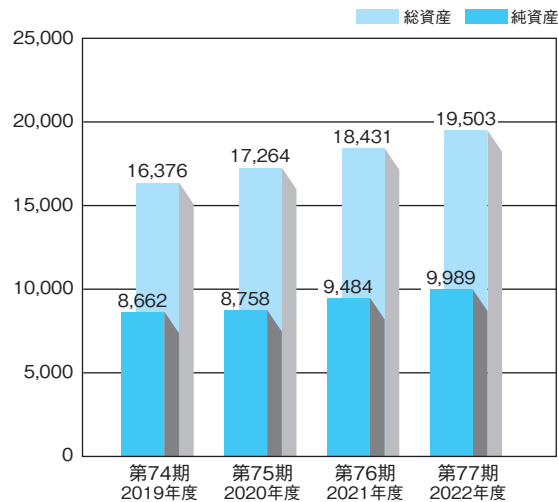
一方、冷間圧造用鋼線は、自動酸洗設備で表面の酸化皮膜を除去した後、伸線機で引き抜くことにより精密な寸法・形状に仕上げられたコイル状の製品をいい、熱処理設備で熱処理を行うことにより、高品質の製品を生産し好評を得ています。

## 連結業績の推移

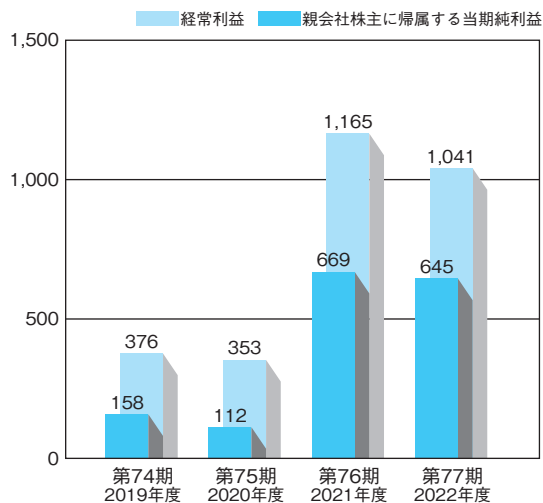
売上高 (単位:百万円)



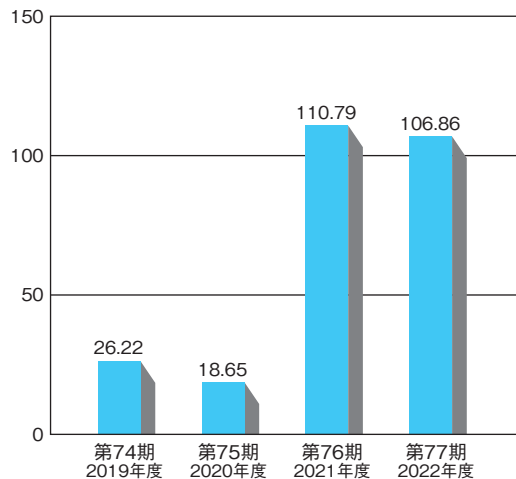
総資産・純資産 (単位:百万円)



経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



## 連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表（2023年3月31日現在）

(単位:千円)

科 目	金 額
[ 資 産 の 部 ]	
流 動 資 産	13,961,757
現金及び預金	2,618,928
受取手形及び売掛金	6,411,068
棚卸資産	4,902,302
その他	29,458
固 定 資 産	5,541,876
有 形 固 定 資 産	4,692,807
建物及び構築物	1,303,852
機械装置及び運搬具	1,386,513
土地	1,865,970
その他	136,471
無 形 固 定 資 産	68,811
投資その他の資産	780,256
資 産 合 計	19,503,634
[ 負 債 の 部 ]	
流 動 負 債	8,623,048
支払手形及び買掛金	5,738,412
短期借入金	1,720,000
1年内返済予定の長期借入金	169,906
その他	994,730
固 定 負 債	891,149
長期借入金	599,120
退職給付に係る負債	161,156
その他	130,873
負 債 合 計	9,514,198
[ 純 資 産 の 部 ]	
株 主 資 本	9,222,287
資 本 金	1,513,687
資 本 剰 余 金	1,303,508
利 益 剰 余 金	6,426,531
自 己 株 式	△ 21,439
その他の包括利益累計額	5,090
その他有価証券評価差額金	5,090
非 支 配 株 主 持 分	762,057
純 資 産 合 計	9,989,435
負 債 ・ 純 資 産 合 計	19,503,634

(注) 1. 連結子会社は、大阪ミカキ株式会社及び大同磨銅材工業株式会社の2社であります。

2. 有形固定資産の減価償却累計額

13,467,290千円

連結損益計算書（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）(単位:千円)

科 目	金 額
売 上 高	23,935,603
売 上 原 価	20,392,114
売 上 総 利 益	3,543,488
販売費及び一般管理費	2,577,250
営 業 利 益	966,237
営 業 外 収 益	99,579
営 業 外 費 用	24,229
経 常 利 益	1,041,586
特 別 利 益	16,290
特 別 損 失	26,844
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	1,031,032
法人税、住民税及び事業税	308,210
法 人 税 等 調 整 額	△ 14,379
当 期 純 利 益	737,202
非支配株主に帰属する当期純利益	91,299
親会社株主に帰属する当期純利益	645,902

(注) 1株当たり当期純利益

106円86銭

連結キャッシュ・フロー計算書（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）(単位:千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	651,324
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 880,320
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 121,660
現金及び現金同等物の減少額	△ 350,657
現金及び現金同等物の期首残高	2,969,585
現金及び現金同等物の期末残高	2,618,928

連結株主資本等変動計算書（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	1,513,687	1,303,508	5,980,097	△ 21,392
当期変動額				
剰余金の配当			△ 199,468	
親会社株主に帰属する当期純利益			645,902	
自己株式の取得				△ 46
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	—	—	446,434	△ 46
当期末残高	1,513,687	1,303,508	6,426,531	△ 21,439

	株主資本	その他の包括利益累計額	非支配株主持分	純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		
当期首残高	8,775,900	5,330	703,086	9,484,317
当期変動額				
剰余金の配当	△ 199,468			△ 199,468
親会社株主に帰属する当期純利益	645,902			645,902
自己株式の取得	△ 46			△ 46
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		△ 240	58,970	58,730
当期変動額合計	446,387	△ 240	58,970	505,117
当期末残高	9,222,287	5,090	762,057	9,989,435

## 個別財務諸表の要旨

貸借対照表（2023年3月31日現在）

（単位：千円）

科 目	金 額
[ 資 産 の 部 ]	
流動資産	10,759,711
現金及び預金	1,892,549
受取手形及び売掛金	5,226,122
棚卸資産	3,613,361
その他	27,678
固定資産	5,629,810
有形固定資産	3,579,837
建物及び構築物	1,095,406
機械装置及び運搬具	1,057,044
土地	1,337,540
その他	89,845
無形固定資産	16,298
投資その他の資産	2,033,674
資産合計	16,389,521
[ 負 債 の 部 ]	
流動負債	7,021,722
支払手形及び買掛金	5,269,484
短期借入金	1,040,000
1年内返済予定の長期借入金	80,700
その他	631,537
固定負債	611,016
長期借入金	403,500
退職給付引当金	120,911
その他	86,604
負債合計	7,632,738
[ 純 資 産 の 部 ]	
株主資本	8,750,203
資本金	1,513,687
資本剰余金	1,317,207
利益剰余金	5,940,748
自己株式	△ 21,439
評価・換算差額等	6,578
その他有価証券評価差額金	6,578
純資産合計	8,756,782
負債・純資産合計	16,389,521

（注）有形固定資産の減価償却累計額

10,992,946千円

損益計算書（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）（単位：千円）

科 目	金 額
売上高	19,197,241
売上原価	17,190,281
売上総利益	2,006,960
販売費及び一般管理費	1,522,343
営業利益	484,617
営業外収益	141,249
営業外費用	15,984
経常利益	609,881
特別利益	15,990
特別損失	24,995
税引前当期純利益	600,876
法人税、住民税及び事業税	122,192
法人税等調整額	64
当期純利益	478,619

（注）1株当たり当期純利益

79円18銭

## 会社の概要

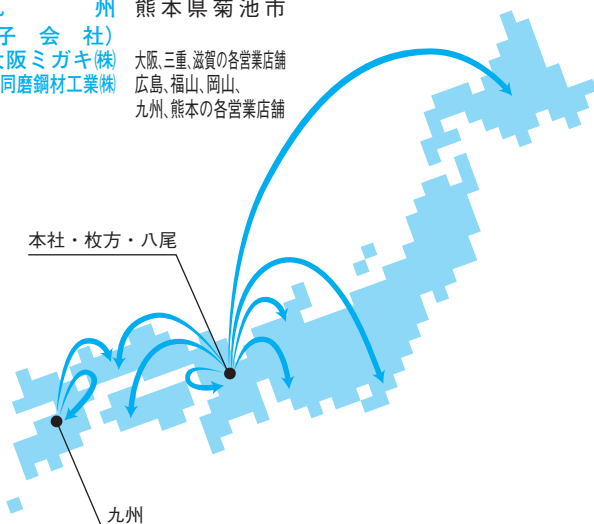
2023年3月31日現在

社名	株式会社サンユウ
所在地	本社／大阪府枚方市春日北町3丁目1番1号 電話：072-858-1251 FAX：072-858-2672
設立	1957年1月
資本金	1,513百万円
従業員数	186名（単体）、291名（連結）
事業内容	みがき棒鋼の製造、加工及び販売 冷間圧造用鋼線の製造、加工及び販売

## 主な事業所及びネットワーク

2023年3月31日現在

本社 (営業店舗)	大阪府枚方市
枚方	大阪府枚方市
八尾	大阪府八尾市
九州 (工場)	熊本県菊池市
枚方	大阪府枚方市
八尾	大阪府八尾市
九州 (子会社)	熊本県菊池市
大阪ミガキ(株)	大阪、三重、滋賀の各営業店舗
大同磨鋼材工業(株)	広島、福山、岡山、九州、熊本の各営業店舗



## 重要な子会社の状況

2023年3月31日現在

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
大阪ミガキ株式会社	40百万円	67.5%	みがき棒鋼の製造及び販売
大同磨鋼材工業株式会社	20百万円	100.0%	鋼材の販売

(注) 大阪ミガキ株式会社は、2022年12月に株式会社メガサスの発行済株式の35%を取得しました。

## 役員

2023年6月29日現在

代表取締役社長	喜多章
取締役相談役	西野淳二
取締役	水野由実
取締役	清家徹
取締役	清水良寛
取締役	若林嘉幸
常勤監査役	生方徹
監査役	藤田典明
監査役	仲山隆之
上席執行役員	松井亮一
執行役員	大槻晃弘
執行役員	笹山英俊
執行役員	向井徹
執行役員	安積光治
執行役員	河村岳史

(注) 1. 取締役清水良寛及び若林嘉幸の両氏は社外取締役であります。  
2. 監査役生方徹、藤田典明及び仲山隆之の3氏は社外監査役であります。  
3. 2023年6月29日付をもって、八木信郎氏は顧問に就任いたしました。

## 株式の状況

2023年3月31日現在

発行可能株式総数 19,344,000株

発行済株式の総数 6,091,000株

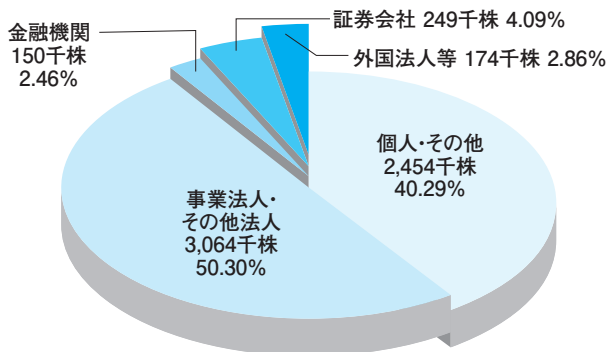
株 主 数 2,327名

### 大 株 主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
日本製鉄株式会社	2,035 千株	33.67 %
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	452	7.49
日鉄物産株式会社	250	4.14
村 岡 克 彦	227	3.77
サンユウ従業員持株会	189	3.13
永 田 麻 里	187	3.10
佐藤商事株式会社	180	2.98
柏 木 伸 夫	135	2.25
株式会社りそな銀行	110	1.82
高 島 庄 二 郎	90	1.50

(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式 (46,570株) を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。

公告方法 電子公告により当社ウェブサイト (<https://www.sanyu-cfs.co.jp>) に掲載いたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

各種お問合せ先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
郵便物送付先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話 0120-094-777 (通話料無料)

※受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)

### IRメール配信のお知らせ

当社では、株主・投資家の皆様向けにIRメールを配信しています。

配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録 (無料) いただけます。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=5697>

IRメール配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しています。



